

専門課程学生による授業評価アンケートにみる 授業改善結果

関東職業能力開発大学校
附属千葉職業能力開発短期大学校 渡 辺 信 久

Result of the Lesson Evaluation by the Students

Nobuhisa WATANABE

要約 当校では、平成13年度以降専門課程の学生を対象とした授業評価アンケートを年1回実施している。その内容は①授業の内容について、②授業の進め方（教え方等）について、③授業への出席率・興味・関心について、④安全について、に大別される。アンケートは当然のことながら無記名方式で行っていることもあり、学生からの率直な評価・意見が寄せられている。そして、これから得られた貴重な知見に基づきさまざまな改善に取り組んできた。本稿では、平成15年2月に実施したアンケート結果を報告する。

I はじめに

当校の行っている主要事業の一つ（というより最重要事業と言っても過言ではない）である専門課程の教育訓練はどうあるべきか、これは不断に追求しなければならない課題である。その際の視点の一つはCS（顧客満足）つまり直接の顧客ともいべき学生が訓練内容・教え方等をどう評価するか、それに満足しているか否か、にある。

こうした視点から、当校では平成13年度より専門課程の学生を対象とした授業評価アンケートを実施しており、平成15年2月に第2回目を実施した。

前回（平成14年実施）との比較での今回調査の特徴点として、部外講師についても実施したこと、2回目であることから前回と比較した結果、改善の有無をある程度見ることができたことがあげられる。

II 調査実施概要

調査は以下に示す要領で実施した。

1 使用アンケート用紙

資料1に示す用紙を使用した。これはほぼ前回のも

のを踏襲しているが、前回の「問1-3 内容のレベルは」及び「問1-4 内容の難しさは」をまとめて「問1-3 レベルは」に変更した他、若干の字句修正を行った。

2 実施時期

平成15年2月末日期限で回収した（授業の関係で、一部の部外講師については同年9月に追加実施した）。

3 実施対象

全教員の授業を対象とし、教員1人あたり原則として学科1科目、実技1科目とした。さらに、今回は対象外とした部外講師も対象とした。

4 回収方法

前回以上に学生の自由な評価を保証するために、記入されたアンケート用紙は学生自らが封筒に入れ封をして提出するようにした。

5 その他

本アンケート調査の結果の扱いとしては、前回と同じく、個々の授業（教員）に関する評価結果は当該教員に伝達し、科ごと及び校全体の評価については学務委員会で確認することとした。

Ⅲ 回収状況

科ごと及び全体のアンケート回収状況を表1に示す。

表1 アンケート回収状況

科名	回収率	
	今回	前回
一般教育	77.2%	—
制御技術科	96.4%	23.6%
電子技術科	96.0%	68.2%
情報技術科	96.5%	47.4%
住居環境科	78.0%	80.7%
生産技術科	89.4%	44.7%
航空機整備科	99.5%	88.4%
合計	87.9%	61.7%

注：・「一般教育」は全て部外講師である。
 ・「回収率」とは、当該科目の対象学生数に対する実際に回収できた数の比率を指す。

あらかじめ各教員への周知を徹底したこと、回収方法を改善したことにより、回収率は全体で87.9%と、大幅なアップとなった（前回は61.7%）。特に部内講師については、担当授業のなかった1名を除き全員が学科・実技両方について実施した。科別に見ると、一般教育、住居環境科が80%を下回り、生産技術科もやや低いが、他はいずれも96%以上と非常に高い回収率となっている。

Ⅳ 評価結果

1 全般的評価

全体の最高評価平均値は4.30(4.46)、最低3.09(2.74)、平均3.70(3.73)（カッコ内は前回結果）となっている（資料2）。

なお本稿で使用している評価点は、一部の例外（3段階評価）を除いて5段階評価にて調査を行った関係で、最高評価から順に5、4、3、2、1（＝最低評価）点として算出したものである（3段階評価については5、3、1点とした）。

サンプル数の違い、部外講師を対象としたか否か等の条件の違いはあるが、傾向としては、前年度に比べ、平均値はほぼ同一で、最高最低の間が縮小された結果となっている。

さらに前回との比較において特徴的なのは、両年度とも評価レベル及び問相互の相関関係で同じような傾向を示していることである。紙面の都合上、全問平均

値のみを各科ごとに両年度比較したものを図1に示すが、これを問ごとに見ても、教員ごとに見ても同様の傾向を示している。

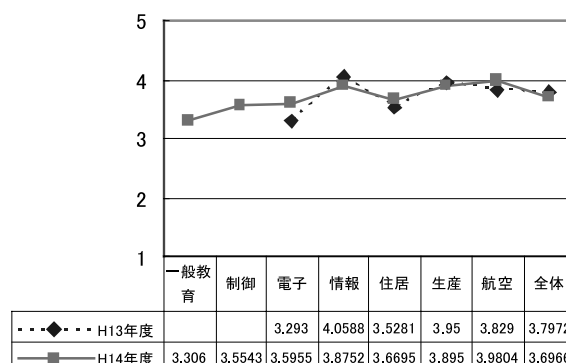


図1 全問平均

注：平成13年度においては、「一般教育」は部外講師対応であるため、「制御」については回収数が極めて少なかったため、それぞれ数値は記載されていない。

このことは、まだまだ授業改善の余地が残されていることを示しているといえる。

部外講師と部内講師の間にはさほどの差は見当たらないが、授業の内容（問1）、授業の進め方（問2）について部外講師の評価がやや低い。それは、一部の部外講師の評価が相当低かったためであり、これを考慮するとほぼ同一レベルにある。

2 設問別評価

- ① 授業の内容（問1）、進め方（問2）とも総体的には合格点と言えるが、相当程度評価の低い者がいることも明らかである（図2に問1の結果を示す）。なお、問1と問2の間には強い相関関係のあることが分かる（図3）。
- ② 内容を良しと思えば、教え方も良く見えるといった面もあるが、やはり教え方が授業そのものの評価に大きく影響を与えていると考えるべきであろう。特に「3」未満の評価を受けた事項については、その指摘を真摯に受け止め、改善すべき点は改善するよう努める必要がある。
- ③ 授業の出席率（問3-1）はかなり高い（全体平均で4.35）が、これには厳しい履修要件が課せられていることが大きく影響していると考えられる。このことは、授業への関心（問3-2）のそれが3.55（資料2）で、両者には大きな開きがあることから推測される。出席率の高さ＝関心の高さでないことに留意する必要がある。

また、問3-2（関心）と問2（授業の進め方）との間にも相当程度の相関関係が認められる（図4）。授業内容と同様に、授業の進め方が授業に対する関心度に相当程度影響を与えていることが分かる。

④ 安全（問4-1、4-2）

安全に関しては、事前の説明（問4-1）、危険度（問4-2）とも概ね評価は高いが、一部に説明の不充分さ等を感じた学生もある。

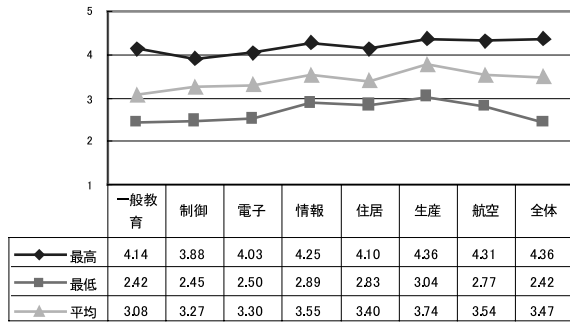


図2 問1平均

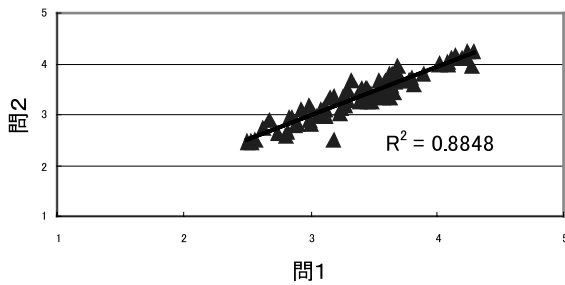


図3 相関関係-問1～問2

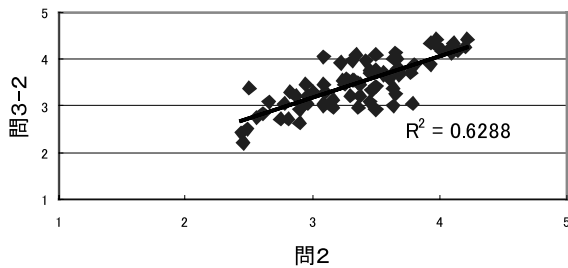


図4 相関関係-問2～問3-2

3 自由記述について（問5）

問5で気づいたことや要望等について尋ねたが、問1～4での評価に関連して具体的に数多く指摘されている。

また、問1～4の結果と同様に、ある教員に対する指摘（特に批判的な指摘）は前回と似通ったものになっ

ている傾向がある。

異なる学生から同様の指摘を受けるということは、改善の跡が見られないことを意味する（その指摘が適切であった場合）。もう一度真摯に受け止める必要がある。

以下代表的な指摘事項を記す。

① 学生への接し方

- できない人をからかう
- 態度が強圧的、言葉が乱暴
- 平等に扱ってほしい

といった指摘が相変わらずある。

状況によって学生の受け止め方はそれぞれであろうが、こうしたことによって学生の人格を傷つけている恐れもあるので、早急に是正する必要がある。

② 講義・説明の仕方、レベル・速度

- 説明が分かりにくい
- 板書文字が小さい、汚い、書くのが速い
- 声が小さい、もっと元気に

等の指摘も比較的多く、例年特定の教員に集中している。

レベルや授業進行速度についても、一部注文がつけられている。この類の指摘は学生の現状によってさまざまな形で表れる。授業のレベルをどこに置くかは設定された仕上がり像に規定されるものであるが、そのなかで授業についていけない学生への対策（正規の授業の他にも）が必要不可欠である。逆に、特に1年次に工業高校出身者に比較的多く見られる授業をもの足りないと考えている学生への配慮も必要である。

③ その他

- 機材が少ない
- 教科書が良くない・役だっていない

といった指摘も少数だがあった。

なお、前回比較的多かった「遅刻、席はずし、休講が多い」といった類の指摘は今回は皆無であった。状況は改善されているものと考えられるが、このようなことは真にやむを得ない場合を除き厳に慎むべきであり、引き続き注意が必要である。

V まとめ

本アンケート調査の結果について、個々の授業（教員）に対する評価は各教員（部外講師を含む）に伝達し、指摘されたこと、改善すべきこと等について個別

に意見交換を行い、科ごと及び校全体の評価については学務委員会に提起し論議してきた。その結果多くの改善がなされてきたものと考えが、前述したように、一部とはいえ毎回同様の指摘が続くケースも見受けられる。もちろん学生の指摘が全て真実であり正しいものであるとは考えない。大切なのは、評価なり指摘されたことを真摯に受け止めるという姿勢を持ちうるか否か、であり、突き詰めれば学生を「顧客」と考えるか否かであろう。

雇用・能力開発機構も本年3月に独立行政法人となり、これまでややもすると軽視される傾向にあったCSといった視点から当校の提供するサービス（職業訓練）を見直すことの重要性は、ますます高まっている。職業訓練従事者としての理想・理念をもつことは必要欠くべからざることであるが、それが一人よがりとなってはならない。

専門課程学生による授業評価も今回で2回目となり、それに対する理解も深まっているものと思われるが、今後こうした取組みを定着させると同時に、得られた示唆を有効に活用し具体的な改善を一層進めていくことが求められている。

資料1 授業評価アンケート

記入年月日 平成15年2月 日

授業科目名 () 担当教員名 ()

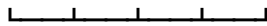
記入方法：問1～4については該当する番号に○印をつけ、
問5については自由に記述してください。

問1 この授業の内容などについてお尋ねします。

1-1 内容の豊かさは

(多角的な分析や多方面からの説明内容など…)

良い 5 4 3 2 1 悪い



1-2 量は

(授業時間に対して扱う量など…)

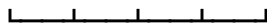
適切 5 4 3 2 1 適切でない



1-3 レベルは

(学習のし易さや水準など…)

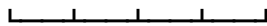
適切 5 4 3 2 1 適切でない



1-4 面白さは

(面白く、興味ある内容など…)

良い 5 4 3 2 1 悪い

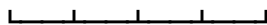


問2 この授業の進め方についてお聞きします。

2-1 説明は

(授業の準備、説明の仕方や工夫など…)

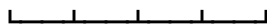
良い 5 4 3 2 1 悪い



2-2 興味ある進め方は

(関心や興味を引き出すなど…)

良い 5 4 3 2 1 悪い



2-3 事例や例題、課題は

(適切な事例を使うなど…)

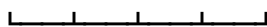
良い 5 4 3 2 1 悪い



2-4 教材は

(テキストや資料など…)

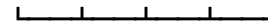
良い 5 4 3 2 1 悪い



2-5 進め方は

(速さや質問・回答など…)

良い 5 4 3 2 1 悪い

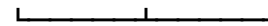


問3 あなたの授業への出席率と興味・関心の程度を自己評価するとどの程度ですか。

3-1 この授業への出席率は

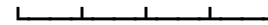
90%以上 90~80% 80%以下

3 2 1



3-2 この授業への興味・関心は

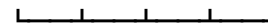
高い 5 4 3 2 1 低い



問4 実験・実習の安全についてお尋ねします。
(実験・実習の科目のみ記入して下さい。)

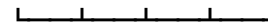
4-1 安全に対して十分な説明がされましたか。

十分 5 4 3 2 1 不十分



4-2 実験・実習中に危険を感じたことがありますか。

無かった 5 4 3 2 1 有った



問5 この授業について、気がついたことや要望があれば自由に記入して下さい。

※ ご協力ありがとうございました。

資料2

科ごと集約結果

設 問	一般教育			制 御			電 子			情 報			住 居			
	最高平均値	最低平均値	平 均	最高平均値	最低平均値	平 均	最高平均値	最低平均値	平 均	最高平均値	最低平均値	平 均	最高平均値	最低平均値	平 均	
問 1	1-1	4.21	2.38	3.12	4.05	2.71	3.44	4.10	2.50	3.44	4.24	3.22	3.66	4.00	2.92	3.44
	1-2	4.16	2.50	3.19	3.81	2.62	3.30	4.04	2.60	3.31	4.19	2.83	3.49	3.86	2.93	3.31
	1-3	4.00	2.48	3.08	3.85	2.10	3.16	3.74	2.25	3.13	4.05	2.61	3.27	4.13	2.83	3.40
	1-4	4.21	2.33	2.93	3.80	2.38	3.20	4.26	2.65	3.33	4.52	2.91	3.78	4.44	2.63	3.45
	平均値	4.14	2.42	3.08	3.88	2.45	3.27	4.03	2.50	3.30	4.25	2.89	3.55	4.10	2.83	3.40
問 2	2-1	4.32	2.30	3.06	4.00	2.48	3.38	3.83	2.60	3.26	4.33	2.77	3.61	4.13	2.42	3.12
	2-2	4.00	2.24	2.84	3.90	2.62	3.22	3.91	2.05	3.01	4.05	2.91	3.51	4.31	2.50	3.17
	2-3	4.16	2.36	3.04	3.79	3.05	3.44	3.70	2.35	3.18	4.10	3.13	3.62	4.06	2.93	3.31
	2-4	4.00	2.17	2.87	3.80	3.00	3.32	4.13	2.60	3.43	3.95	3.13	3.57	3.71	2.79	3.32
	2-5	4.26	2.23	3.02	3.84	2.24	3.31	4.09	2.60	3.22	4.24	2.87	3.52	4.00	3.04	3.37
	平均値	4.15	2.26	2.97	3.87	2.68	3.33	3.93	2.44	3.22	4.13	2.96	3.57	4.04	2.74	3.26
問 3	3-1	5.00	4.30	4.64	4.90	3.19	3.90	4.52	3.90	4.13	4.74	4.29	4.55	4.44	3.75	4.12
	3-2	4.16	2.41	3.10	4.00	2.62	3.33	3.65	2.20	3.13	4.40	2.90	3.78	4.19	3.04	3.64
	平均値	4.58	3.36	3.87	4.45	2.90	3.62	4.09	3.05	3.63	4.57	3.60	4.16	4.31	3.40	3.88
問 4	4-1				4.38	3.72	4.04	4.40	3.63	3.99	4.47	3.32	3.78	4.30	3.58	3.95
	4-2				4.06	3.71	3.95	4.80	4.23	4.46	4.85	4.30	4.66	4.58	4.09	4.34
	平均値				4.22	3.72	4.00	4.60	3.93	4.23	4.66	3.81	4.22	4.44	3.84	4.14
科ごと平均	4.29	2.68	3.31	4.10	2.94	3.55	4.16	2.98	3.60	4.40	3.31	3.88	4.23	3.20	3.67	

設 問	生 産			航 空			全 体								
	最高平均値	最低平均値	平 均	最高平均値	最低平均値	平 均	最高平均値	最低平均値	平 均						
問 1	1-1						4.29	2.94	3.77	4.56	2.90	3.72	4.56	2.38	3.58
	1-2						4.35	3.05	3.66	4.07	2.97	3.53	4.35	2.50	3.43
	1-3						4.22	3.11	3.71	4.25	2.77	3.45	4.25	2.10	3.35
	1-4						4.56	3.06	3.81	4.38	2.45	3.47	4.56	2.33	3.51
	平均値						4.36	3.04	3.74	4.31	2.77	3.54	4.36	2.42	3.47
問 2	2-1						4.24	2.83	3.71	4.44	2.58	3.64	4.44	2.30	3.45
	2-2						4.12	2.78	3.53	4.19	2.68	3.46	4.31	2.05	3.32
	2-3						4.18	3.00	3.55	4.38	2.68	3.61	4.38	2.35	3.45
	2-4						4.18	3.22	3.60	4.19	2.97	3.61	4.19	2.17	3.47
	2-5						4.29	2.94	3.71	4.13	2.97	3.49	4.29	2.23	3.44
	平均値						4.20	2.96	3.62	4.26	2.77	3.56	4.26	2.26	3.43
問 3	3-1						4.90	2.67	4.47	5.00	4.88	4.97	5.00	2.67	4.35
	3-2						4.33	3.06	3.68	4.44	3.00	3.76	4.44	2.20	3.55
	平均値						4.62	2.86	4.07	4.72	3.94	4.37	4.72	2.86	3.95
問 4	4-1						4.44	3.47	4.10	4.67	3.79	4.36	4.67	3.32	4.04
	4-2						4.75	3.65	4.19	4.71	4.43	4.53	4.85	3.65	4.36
	平均値						4.60	3.56	4.15	4.69	4.11	4.45	4.69	3.56	4.20
科ごと平均						4.44	3.10	3.89	4.50	3.40	3.98	4.30	3.09	3.70	